

足元の状況について

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)

愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)

追加型投信/内外/資産複合

2022年3月4日

平素より「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」(以下、世界のマイスター)をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。「世界のマイスター」は2020年10月30日より設定・運用を開始しており、主要投資対象としています「ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ (JPY)」(以下、ピムコファンド)を通して運用を行っております。本レポートでは足元の状況につきまして、運用委託先であるピムコジャパンリミテッドのコメントをご紹介します。

足元の状況について

- ピムコファンドは、足元のマーケット環境を考慮したポジショニングとしております。具体的には、現物株式へは後述の株式テーマ別に投資を行っていますが、欧米の株価指数先物のショートを活用し、合計の株式比率を低位に抑制しています。また、足元で市場の注目が集まっているロシアの証券については保有をしておらず、ウクライナ情勢の悪化がマーケットに与える影響を間接的には受ける可能性はあるものの、ピムコファンドへの直接的な影響は無いものと考えております。

2022年の世界のマイスターの騰落率

- 2022年に入り、世界のマイスターの騰落率は、米国をはじめとした金融緩和の引き締めペースの加速や、ウクライナ情勢の悪化を受けて、下落しました。ただし、2月につきましては、グローバル株式やグローバル債券が下落するなか、資産配分の変更が奏功し世界のマイスターは小幅ながら上昇しました。ピムコファンドでは、主に以下に記載の戦略に基づいて、運用を行いました。
- 世界のマイスターでは引き続き、下値を抑制しつつ中長期で着実に収益を積み上げることで、「中長期で負けない運用」を目指します。

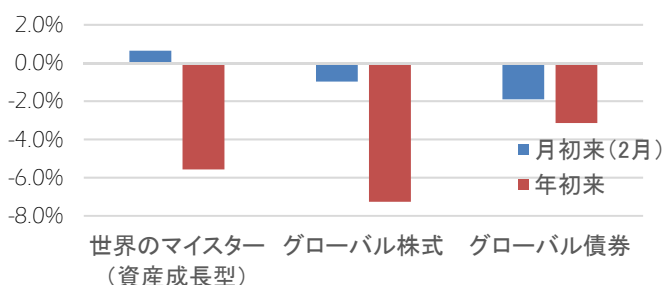
拡大後期に入った景気サイクルではクオリティを重視

- インフレの持続可能性、金融緩和の引き締めペースの加速などの不透明要素を背景に、リスク資産価格のボラティリティは高まる見込み。
- 株式、クレジットともに景気拡大の後半を見据えてクオリティの高さを重視。

資産配分の「守り」と、株式投資テーマの「攻め」

- 配分を高めている債券については、デフレーションを相対的に低位に維持するなど金利上昇への耐性などを意識。
- 株式投資テーマは、景気サイクルを超えて成長が見込まれる銘柄群への投資を維持し、守りと攻めの両面でアクティブ運用を活用。

世界のマイスターとグローバル株式、債券の騰落率



期間：年初来2021年12月末～2022年2月25日、月初来2022年1月末～2022年2月25日。なお、グローバル株式、グローバル債券は前営業日のデータ。グローバル株式はMSCI ACWI(米ドルヘッジ)、グローバル債券はブルームバーグ・グローバル債券総合指数(米ドルヘッジ)を使用。

※MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所)ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ピムコファンドの足元の戦略について(資産配分、株式、為替)

資産配分

- インフレの進行や金融政策の見通し、またウクライナを巡る地政学リスクの高まりを受けた市場のボラティリティ上昇に備え、株価指数先物のショートを活用し、ここ数週間で30%台前半から10%台まで株式の組入比率を削減しました。

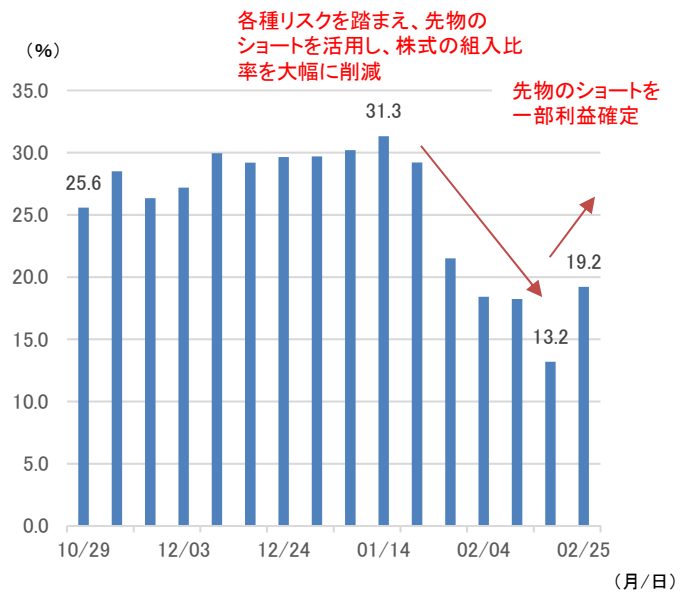
株式

- 株式投資においては、引き続きクオリティ、利益成長、価格決定力などのバランスに注目しています。テーマとして注目しているのは、目先のインフレや米連邦準備制度理事会(FRB)の動向に左右されず持続的な成長が期待できる分野である「グリーン&デジタル」などです。

為替

- 製造業回復の恩恵を受けるアジア通貨や、利上げが進む東欧通貨(ハンガリー:フォリント、ポーランド:ズロチ)、利上げに加え資源価格上昇の恩恵が想定される南米通貨(チリ:ペソ、ブラジル:リアル)など新興国通貨への投資を増やしています。

ピムコファンドの株式の組入比率



期間: 2021年10月29日~2022年2月25日

(出所)ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

主に注目する株式投資テーマと業種

- 化石燃料価格の高騰を受けてますます重要性が高まっている「グリーン」分野、そして足元では株価の下押し圧力が強いものの、飛躍的な需要の増加が見込まれ、供給不足が解消すれば技術革新の加速が見込まれる「テクノロジー」の要となる半導体企業群など、中長期で市場平均を上回る成長が期待されるテーマ・業種に注目しています。



ハイ・クオリティ

- ✓ 半導体
- ✓ ハードウェア
- ✓ 医薬品



次世代産業 2.0

- ✓ ロボティクス
- ✓ 電子決済
- ✓ ブロックチェーン



消費者の購買力

- ✓ バイオテクノロジー
- ✓ ヘルスクエア
- ✓ 海運



脱炭素社会/持続可能性

- ✓ 再生可能エネルギー
- ✓ 電気自動車
- ✓ リサイクル可能な資源



2022年2月末時点

(出所)ピムコジャパンリミテッド

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ピムコファンドの足元の戦略について(債券)

債券(金利)

- 利上げの織り込みが進んだことを背景に、債券におけるリスクのバランスが改善したことから、米国を中心に金利リスク(※)を1.2年後半から2.4年近くまで積み増しています。米国以外ではカナダ、オーストラリア、欧州に投資をしています。

債券(クレジット)

- PIMCOでは引き続き社債投資全般に慎重な姿勢を維持しています。ピムコファンドでは、質の高い投資適格社債や金融債、また非政府系モーゲージ債などのファンダメンタルズが良好かつ投資妙味があるセクターを選好しています。

ピムコファンドの金利リスク(※)の推移



期間: 2021年10月29日~2022年2月25日

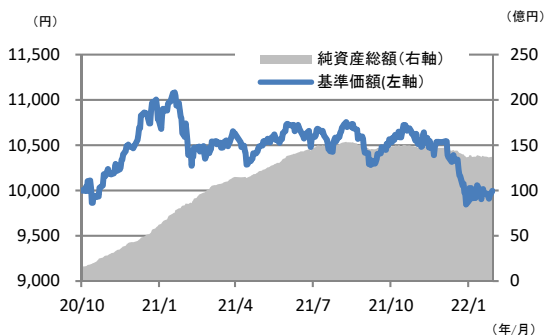
(※)金利リスクとは、ピムコファンドのポートフォリオの加重平均デュレーションです。デュレーションとは、金利の変化に対する債券もしくはポートフォリオの価格感応度を示す値(単位:年)で、債券投資において広く用いられるリスク指標です。デュレーションは長いほど、債券は金利変動に対して感応度が高くなり、結果、債券価格の変動がより大きくなります。

(出所)ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

世界のマイスターの基準価額推移(2022年2月28日時点)

<資産成長型>

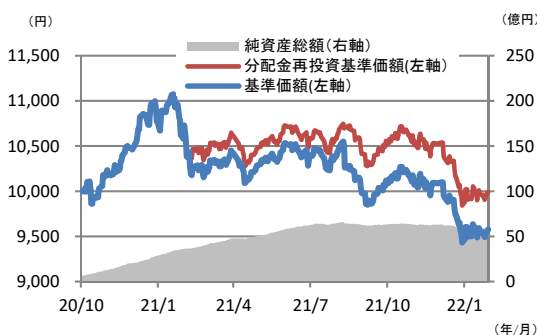
(期間: 2020.10.30~2022.2.28)



基準価額	9,996円
純資産総額	137.2億円

<年2回決算型>

(期間: 2020.10.30~2022.2.28)



基準価額	9,576円
純資産総額	59.2億円

【分配金】

第1期(2021年3月10日)	190円
第2期(2021年9月10日)	250円

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金は1万口当たり、税引前です。
※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(作成:運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式、債券、通貨、商品および不動産関連の証券等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできないため、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「債券価格変動リスク」、「商品価格変動リスク」、「不動産関連の証券の価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カウンターリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンド目的・特色」、「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限2.2%（税抜2.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.848%（税抜1.68%）

※当ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬はかからないため、実質的な運用管理費用（信託報酬）も上記と同じとなります。

- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産で負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的に負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			○
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)